



熊本に保健師を派遣 心に寄り添い訪問活動

熊本地震の被災地支援として、5月28日～6月1日まで、古河市役所健康づくり課の長瀬まり子保健師が熊本県菊池郡大津町で災害支援活動を行ってきました。茨城県と県内市町村の合同派遣チームの一員として派遣され、避難所での健康相談や衛生対策、在宅避難者の家庭訪問活動などを行いました。

古河市が被災したときのことも考えながら活動にあたったという長瀬保健師。「いつ、何が起こるかわからない災害。今回の経験で、日ごろから災害に備えなければならないと強く感じました」と話します。

市では、今後も熊本地震被災地への支援を続けていきます。



▲派遣前、菅谷市長から激励を受ける長瀬保健師（左）



◀被災者の心に寄り添い、話をよく聞くことを心がけたという長瀬保健師（左）

茨城国体に向けて 「古河市綱引連盟」が発足



古河市は3年後の2019(平成31)年、「いきいき茨城ゆめ国体2019」の綱引競技開催都市です。市民の綱引競技への意識を高め、愛好者を増やすために「古河市綱引連盟」が発足し、6月2日に設立総会が開催されました。

設立総会では連盟登録9チームの代表や連盟設立準備委員会の委員等が出席。規約や役員、事業計画等が審議され、連盟の会長に中村清氏が選任されました。

今後、連盟では綱引大会の開催等を通じて茨城国体に向けて競技を盛り上げ、地元チームの国体出場を目標に活動していきます。



◀今年度は、9月と2月に綱引大会を開催予定

ご利用
ください

市役所総和第2庁舎に 授乳室完成

市役所総和第2庁舎に授乳室が完成し、6月1日から乳児を連れて市役所を訪れた市民が利用できるようになりました。

授乳室は「子育て支援課」や「子ども入園課」のある総和第2庁舎2階の西側階段脇にあり、ベビーカーのまま入室することが可能です。室内には、ゆったりと授乳することができるよう背もたれのあるイスや、おむつ替えベッドが設置されています。

市役所にお越しの際は、ぜひお気軽にご利用ください。



▲市では、安心して子育てができるよう、さまざまな施策に取り組んでいます